

令和3年度 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス情報	学年	第1学年	学 科 類 科 型	情報ビジネス科
単位数	2単位	教科書	最新ビジネス情報 新訂版(実教出版)				
副教材							

学習目標	情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得します。情報を効率的に処理することの重要性について理解するとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を養っていきます。
------	---

キャリア教育の視点	情報技術の進歩や情報が社会に及ぼす影響、情報に対する個人と企業の責任、個人情報と知的財産の適切な取扱いと保護について理解しながら、ビジネス社会におけるネットワーク構築、ネットワークのセキュリティの必要性について考える力を養っていきます。また、企業でのシステム開発に携わる姿勢も養っていきます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	1章 ビジネスと情報	ビジネスと情報の関係、企業における業務システムの実際などを学び、ビジネスにおける情報活用の基本的な知識を習得します。 クライアントサーバシステムの構築や管理に関する基本的な知識・技術を習得します。	期末考査
	5月	1節 情報化社会とビジネス 2節 ネットワークとビジネス		
	6月	2章 情報通信ネットワークの活用		
	7月	1節 ネットワークの基礎		
2 学 期	8月	2節 ネットワークの構築と管理	データ管理やセキュリティ管理の意義と役割を学び、ネットワークの安全性を維持するために必要な知識や技術を習得します。 表計算ソフトウェアを用いて様々なビジネス情報を分析して活用する知識・技術を身に付けます。ワークシート間の集計やクロス集計などの技法やマクロ機能を用いて自動化の方法を理解し、身に付けていきます。	期末考査
	9月	3節 サーバの管理 4節 セキュリティ管理		
	10月	3章 表計算ソフトウェアの活用 1節 集計処理		
	11月	2節 オペレーションズリサーチの基礎		
	12月	3節 ビジネス計算 4節 手続きの自動化		
	1月	4章 データベースソフトウェアの活用		
3 学 期	2月	1節 ビジネス情報とデータベース	データベースの設計と作成、関数を利用した報告書などデータベースの実践的な活用のための知識を習得します。 企業のシステムを独自に開発する流れについて理解します。 システム開発の手順や基本的なアルゴリズム、マクロプログラムの記述方法を理解して、身に付けていきます。	学年末考査
	3月	2節 データベースの利用 3節 SQLの操作		
		5章 ソフトウェアを活用したシステム開発		
		1節 システム開発の基礎 2節 アルゴリズムの基礎 3節 表計算ソフトウェアでの開発		

学習の方法	パソコンを使用した実習を中心にして、ビジネス社会における情報処理やビジネス文書作成のスキルを身に付けていきます。また、座学においてはコンピュータの基本知識やセキュリティ管理についての用語や方法について小テストを行うなどして理解を深めていきます。また、検定取得にも積極的に取り組み、上位級取得に向けて学習していきます。
-------	--

評価の仕方	定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、小テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。
-------	--

備考	
----	--

